



平成25年

第58号

2013. 1

市議会だより

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町1-1 TEL 39-2322]



成人式風景

年頭にあたつて

富良野市議会議長

北 猛俊



新年を迎えるにあたり、市民の皆様には穏やかに初春をお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。師走の総選挙において、新たな政府が発足いたしましたが、景気回復や雇用確保の身近な問題から、原発や新エネルギー対策・円高デフレからの脱却・貿易や領有権といった外交と安全保障・医療・福祉・年金の社会保障改革など、重要課題への取り組みはこれからであります。

時代はますます混迷を極めておりますが、同時に、私どもの眼前には輝く未来の舞台が大きく展開されようとしているのも事実であります。富良野市議会では、富良野市政の限りない発展と住民福祉の向上を推進し、個性にあふれた明るく住みよい地域社会の創造と、真の地方分権の確立を目指して努力をしてまいります。

市民に開かれた議会が求められる中、議会報告会を実施するとともに、インターネットによる議会中継や市民とまちづくりを話し合う一般会議も導入いたしました。

市民の皆様には本議会や委員会等の傍聴に来ていただくことを基本としながら、あらゆる媒体を活用いただきながら議会情報の公開と共に努めています。また、我がまちの課題や市民の意見がどのように議論され、反映されていくのかを見ていただき、より積極的に議会に参加をいたいで、ご提言やご意見をいただきたいと思っております。

新しい年が富良野市に繁栄をもたらす希望の一年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶いたします。

平成24年 第4回 富良野市議会定例会議決結果表

会期：平成24年12月4日～12月14日(11日間)

議案番号	事件名	議決月日	議決結果
(23年第3定)認定第1号	平成23年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第2号	平成23年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第3号	平成23年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第4号	平成23年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第5号	平成23年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第6号	平成23年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第7号	平成23年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第8号	平成23年度富良野市水道事業会計決算の認定について	12月4日	原案認定
(23年第3定)認定第9号	平成23年度富良野市ワイン事業会計決算の認定について	12月4日	原案認定
議案第1号	平成24年度富良野市一般会計補正予算(第7号)	12月14日	原案可決
議案第2号	平成24年度富良野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	12月14日	原案可決
議案第3号	平成24年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	12月14日	原案可決
議案第4号	平成24年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	12月14日	原案可決
議案第5号	平成24年度富良野市水道事業会計補正予算(第1号)	12月14日	原案可決
議案第6号	富良野市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第7号	富良野市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第8号	富良野市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第9号	富良野市一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第10号	富良野市市道の構造の技術的基準に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第11号	富良野市市道に設ける道路標識の寸法に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第12号	富良野市における高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造の基準に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第13号	富良野市営住宅等の整備基準に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第14号	富良野市準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第15号	富良野市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の制定について	12月14日	原案可決
議案第16号	富良野市条例の一斉点検に伴う関係条例の整理について	12月14日	原案可決
議案第17号	富良野市行政手続条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第18号	富良野市立児童館設置条例及び富良野市学童保育センター設置条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第19号	市民の暮らしを育む条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第20号	富良野市建設関係手数料条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第21号	富良野市公園条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第22号	富良野市公共下水道に関する条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第23号	富良野市水道事業の設置に関する条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第24号	富良野市簡易水道設置条例の一部改正について	12月14日	原案可決
議案第25号	富良野市条例の一斉点検に伴う関係条例の廃止について	12月14日	原案可決
議案第26号	指定管理者の指定について(山部自然公園太陽の里)	12月14日	原案可決
議案第27号	指定管理者の指定について(金満緑地公園パークゴルフ場)	12月14日	原案可決
議案第28号	指定管理者の指定について(東山公園パークゴルフ場)	12月14日	原案可決
議案第29号	富良野市固定資産評価審査委員会委員の選任について	12月4日	選任同意
議案第30号	平成24年度富良野市一般会計補正予算(第8号)	12月14日	原案可決
議案第31号	市道における物損事故の損害賠償及び和解について	12月14日	原案可決
報告第1号	専決処分報告(平成24年度富良野市一般会計補正予算(第6号))	12月4日	原案承認
報告第2号	専決処分報告(市道における物損事故の損害賠償及び和解について)	12月4日	報告済
意見案第1号	次代を担う若者世代支援策を求める意見書	12月14日	原案可決
その他会議に付した事件	所管事項に関する委員会報告 ・事務調査報告(総務文教)	12月4日	調査済
	・都市事例調査報告(総務文教)	12月4日	調査済
	・事務調査報告(保健福祉)	12月4日	調査済
	・都市事例調査報告(保健福祉)	12月4日	調査済
	・事務調査報告(経済建設)	12月4日	継続調査
	議員派遣に関する報告	12月4日	調査済
	議会改革特別委員会報告	12月4日	継続調査
	監査委員報告 ・例月出納検査結果報告(平成24年度7月分～9月分)	12月4日	報告済3
	閉会中の所管事務調査について(総務文教・保健福祉)	12月14日	許可2
	閉会中の都市事例調査について(議会運営)	12月14日	許可1

一般質問

本間敏行

(ふらの未来の会)

旅費の算定基準の見直しは

問 道内では、179市町村のうち、旅費の支給方法として定額制を実施しているのは174市町村、実費制は5市町村となつてている。

財務省は公務員の旅費制度のあり方に参考とするため、昨年11月に民間企業の旅費に関する実態調査をし、国内の有力企業540社のうち、実費制は51%と定額制の47%を上回った。現状において、官民での取り組みに対しての格差があるかと考える。公金の透明性が重視される時代、我々議員も市職員も、経費の支出方法の再検討が必要かと考えるが見解は。

答 富良野市の宿泊料は、平成18年に条例改正し、現在定額制で、職務に関係なく一律で道内9800円、道外10900円で運用している。

本市の宿泊を伴う旅費の支給状況は、平成23年度は176件

となつておらず、主要な用務としては、国等への要望関係、先進地視察関係、職員研修、観光・物産などによる道外出張があり、札幌への出張は38件のうちほとんどが日帰りとなつていて、道内の自治体で見ると、本市の旅費9800円は最低水準にある。

道内の自治体で見ると、本市の旅費9800円は最低水準にある。



JR 富良野駅

天日公子

(民主クラブ)

国民健康保険の運営は

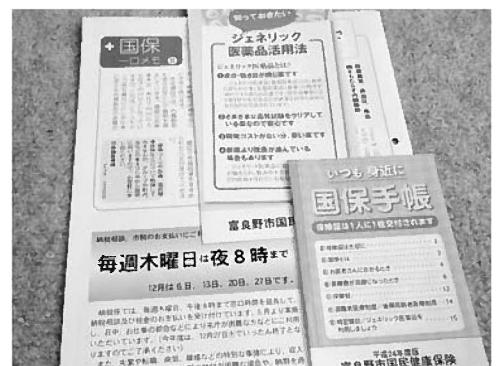
問 国民健康保険事業運営の現状は大変厳しいが、課題と取り組み状況は。

定額制については、同じ目的の場合に支給額に差が出ず、公平かつ迅速な事務処理ができることに一定の合理性があることから、当面、国や他の多くの自治体と同様に定額制での運用を考えているが、社会情勢の動向を把握しながら、適正な支給基準の見直しに努めていきたいと考える。

答 平成24年3月末の被保険者数は3888世帯7383人。国民健康保険税の課税基礎となり総所得金額の無い世帯が概ね3割を占め、軽減対象世帯も5割を超える。低所得者が多く国保の財政運営上厳しい状況。医療費の一人当たり費用額は平成23年度34万9千円になる。23年度34万9千円になる。

収入の確保と保険給付費の縮減が課題で納税相談を充実するとともに、公平な税負担の確保を図る上から預貯金や動産の差押えなど滞納処分の徹底や短期被保険者証、資格証明書の活用により収入率の向上を図っている。

問 平成24年度予算では一般会計からの借入金で対応したが、平成25年度の国民健康保険税はどうに考えていくのか。また赤字が生じた場合の対応は。



国民健康保険の維持に向けて

◇母子保健事業の経過と推進

問 国への改善要望の内容は。

答 全国民を対象にした医療保険制度の一本化。国保事業の広域化の推進。保険者を都道府県に。国庫負担割合の引上げ。

【その他の質問】

広瀬寛人

(ふらの未来の会)

保育行政

問 保育所と幼稚園の課題と解決策は。

答 市内4つの幼稚園の定員は525名に対して403名。出生数予測で平成33年度には126名と予想され、市では3歳から5歳は幼稚園、0歳から2歳を保育所・託児所を基本として認可保育園定員も201名から120名程度として共存共栄を図る。子ども・子育て支援法に基づいた幼児教育や保育の一貫調査を平成25年度に行う。

広報・広聴施策

問 ホームページの問題点とソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の活用は。

答 情報が更新されていないものもあり迅速性に問題ないと認識しており各課に責任者を配置し精査する。自治体SNSについては、道府がツイッターの試行、上川管内でも6市町村が既



旧緑町児童館

にSNSを立ち上げており今後の行政として活用や運営についてのガイドライン設定など調査研究をしたい。

新・旧緑町児童館

問 新緑町児童センターのメニューや質の向上と旧児童館の方向性は。

答 児童館から児童センターになることで遊びを通して体力指導をメニューに導入し、開設後も学校側や運営委員会と協議をして質の向上に努める。午前中の活用も児童クラブ等の設立要望が在れば利用推進を考える。旧児童館は平成25年度に取り壊し更地にして児童公園として整備も含め活用方法を検討する。

農業の担い手対策

問 農業担い手対策として、子育て支援という視点が必要と考える。現在、アグリパートナー支援を継続して実施し、効果を得ているが、長期的な視点に立った次なる対策が必要では。

答 本市農業が地域経済を支える基幹産業として持続的に発展

渋谷正文

(ふらの未来の会)

墓地の管理・運営

問 誰もが参拝しやすい墓地とする環境整備が必要。市民の墓地に対する意識、要望を的確に把握し、計画的、効率的な運営を図ることが必要ではないか。

答 これまで周辺道路や橋の整備など利用しやすい環境づくりを進めており、墓地の無縁墓、墓地移転、永代供養等への対応及び現在の使用状況を踏まえ、適切に管理・運営することで区画不足に対応可能と考える。墓地整備基本計画及び検討委員会の設置は考えていない。



富良野墓地の案内表示

◇通勤手当算定基準の見直し
給与

◇職務と責任に応じた市職員の

一般質問

小林裕幸

(ふらの未来の会)

富良野市で行われる外部団体イベント支援

答 「いじめは、いつでも、どこにでも起ころ」という強い危機意識と根絶に向け各関係機関一體となつて取り組んでいる。

防止対策の活動状況は、西中学校「いじめZERO運動」をはじめ全校で取組みが行われている。実態把握は、年2回いじめアンケートを実施。現在までのところ、いじめは確認されていない。また、不登校傾向にある児童生徒の実態把握は、毎月、児童生徒動態調査を行い、詳細に報告を受け、「適応指導教室マイクラス」を設置し、事案に即した学習指導・支援活動に取り組んでいる。更に諸問題の解決に向け「子どもと親の相談員」等配置し相談業務を行っている。

問 「北海道クラシックカーミーティング」・モーターサイクリストクラブ「北海道ミーティング」の市民周知と支援体制および今後における類似イベントに対する支援の見解は。

答 北海道クラシックカーミーティングについては、赤平市で20回開催され、2011年から本市で開催されている。また、北海道ミーティングについては、今年で30回を迎える。市としては、公益性・地域の活性化の観点から実行委員会の要請に応じ広報等による市民周知・施設の使用・物品の貸出など支援を行ってきた。今後も同様に実行委員会からの要請に応じ内容を精査しながら支援したい。

いじめ防止対策

問 小中学校におけるいじめ防止対策および実態把握と対応は。



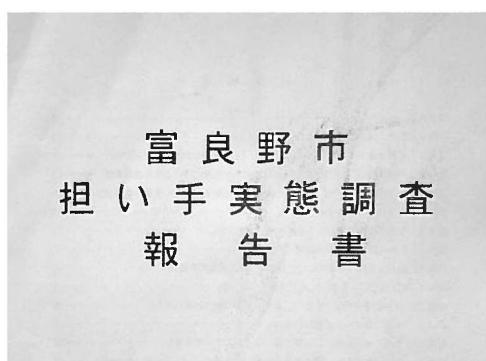
西中学校 ZERO 運動

萩原弘之

(民主クラブ)

担い手実態調査の取り組みは

答 現在町内会加入率は85%となつてはいるが、福祉施設や各共同生活施設などは1世帯のカウントになつてはいるため、正確ではない。原因として少子高齢化や核家族化の進行・人間関係の希薄化・町内会活動への無関心などが考えられる。市では、「ふらのコミュニティレポート」を広報ふらのに連載をしている。また転入の際には町内会加入の必要性や取り組みについて加入促進している。今後コミュニティ推進委員を通じて町内会の実態と意識の調査を実施して加入促進方策を検討する。



担い手実態調査

問 23年度担い手実態調査の結果に対する課題と取り組みは。

答 本調査は、後継者の確保と現状や農家子弟の就農見込み・将来の営農状況・雇用労働の現状と課題・作業受託の現状と課題・法人化、経営継承に対する関心などについて、現在の状況を把握して26年度より新たな農業計画の策定に向けた準備として結果を十分考慮に入れながら今後の富良野農業が活性化する仕組みづくりにつなげる。

町内会組織の課題と対策は

問 町内会未加入者に対する市の対応策とコミュニティ推進委員の協力体制は。

答 現在町内会加入率は85%となつてはいるが、福祉施設や各共同生活施設などは1世帯のカウントになつてはいるため、正確ではない。原因として少子高齢化や核家族化の進行・人間関係の希薄化・町内会活動への無関心などが考えられる。市では、「ふらのコミュニティレポート」を広報ふらのに連載をしている。また転入の際には町内会加入の必要性や取り組みについて加入促進している。今後コミュニティ推進委員を通じて町内会の実態と意識の調査を実施して加入促進方策を検討する。

問 公園などの環境整備事業を町内会に委託しては。

答 公共的な場所については常に実施していただいている。公園等の管理については、作業機械等の危険が伴うため難しい。

◇ゴミステーション設置に対する考え方など

一般質問

石上孝雄

(民主クラブ)

市道の維持管理



早朝からの除雪

問 未舗装道路における砂利の飛散は、融雪後の道路側溝、あぜ草に多く溜まり、町内会、道路護組合等に多大な協力をいただいている。また、草刈等は砂利が入つて危険な作業になりかねなく、隣接する耕作地も同様な所がある。降雪直前の路面整正等の維持作業が重要なと思ふが、市道における砂利の飛散防止対策について伺う。

答 市が管理する道路延長は6.81kmで、舗装率は約5割に達

を点検するため、雪解け後の道路パトロールを実施している。

道路施設に破損等がある場合は早急に破損箇所を修理、補修し安全な道路維持に努めている。道路施設の破損防止対策として、除雪の委託業者に対して、除雪前の除雪ポールの設置作業時に道路状況、道路施設の状況を把握するよう指導し、危険箇所については、除雪ポールの間隔を狭くし設置するなどの対応を実施したい。



富良野中央跨道橋

岡本俊
(市民連合)

冬の節電対策

問 冬期間節電要請が求められているが市民周知対策は。

答 広報やホームページ、ラジオふらの、新聞報道機関を通じ支援策として家電製品の消費がわかるワットメーター5台を2週間の期間で貸出を行っている。なお、節電周知に当たっては高齢者等の弱者に無理な節電をしないよう配慮していく。

問 市道におけるロードヒーティングの使用に対する考え方。

答 市道及び歩道を含めて6か所に設置しているが、大部分が傾斜地のため、事故防止の観点から止めることは困難である。

問 公共施設や地域会館を活用して、健康づくりなどを開催することにより地域コミュニティの推進が考えられるウォームシェアの取り組みについて伺う。

答 一つの部屋や場所に集まり暖かさを分かち合うことでエネルギーを節約することができます。コミュニケーションも深まる取り組みであると認識している。市民それぞれの目的に応じ地域会館、文化会館、図書館、ふらふと、スポーツセンター等の公共施設を利用するウォームシェアについても情報提供したい。

農業計画の策定

問 次期農業計画への府内体制と今後のスケジュールは。

答 平成26年3月の計画策定を目指し平成25年度当初から計画の検証作業を本格的に進め、計画策定に向けた検討委員会や審議会の設置を速やかに行い、体制づくりを計画的かつスピード感をもつて進めていきたい。

岡野孝則

(民主クラブ)

行政改革の現状は

問 第5次総合計画が始まり、本年で早や2年を終えようとしている。事務事業の見直しと検証はどのようにされているのか。

答 過去は事務事業評価をチェックシートで行っていた。現在は、総合計画において施策の基本的方向性が示され、総合計画でのローリング、財政需要額調査等を実施検証し見直している。

問 職員の年代別構成比率が20代では9%しかいない。将来に向け行政推進に影響が出ると思うが今後の対応策は。

答 平成21年度が5・4%で好転はしている。計画的に職員採用は行っている。組織の肥大化を避け適正な人事管理に努める。

問 行革として今後何を重点施策とするのか。

答 適正な定員管理の継続、人材育成、施設の効果的な運営、持続のある健全財政運営を継続し市民サービス等に重点を置く。

委員会の動き

答 協議が前提。今後も家庭教育講演会を開催し防止を進める。

問 携帯電話などでのゲーム利用は、家庭で十分協議が必要と思うがその見解は。

答 富良野協会病院移転を契機に開発が行われたフラン・マルシェ事業は、オープン以来180万人を超える

経済建設委員会

第3回定例会において調査の許可を得た「中心市街地の活性化について」本委員会は、旧基本計画で行われてきた駅前地区土地区画整備事業並びに市街地再開発事業の取り組み、現基本計画に掲げられている各種事業の進捗状況並びに達成しなければならない数値目標の見通しについて、担当部局より説明を受け、事業効果や課題について検証を行つてきています。

駅前地区の再開発事業では、中心街活性化センター「ふらつと」が、計画を上回る9万人以上の年間利用者があり市民の健康づくりに寄与している。しかし、一方では、商業者の高齢化や後継者不足に伴い小売店数の減少に歯止めがかからず、まちなか居住人口の増加対策として成果を残せなかつた経緯にあります。



東4条街区地区再開発事業の計画説明



携帯ゲーム注意喚起は家庭で

来場者を駅前地区や中心市街地全体へ誘導し、いかに経済波及効果を生めるかが、今後の再開発事業のカギと考えます。

9月に施行認可された「富良野市東4条街区地区第1種市街地再開発事業」は施行者が民間事業者であることから、委員会では行政が今まで以上に市民へタイムリーな情報公開を心がけ、事業の透明性を図るとともに、積極的に市民が参加できる機会を設けるなど、市民の理解が得られる事業推進を行うよう言及してきています。

今後は「ルーバンフラノの定義」についても再確認し、富良野のまちづくり構想を深め、将来を見据えた中心市街地全般に関する施策について議論の掘り下げを行います。

総務文教委員会

■地域新エネルギーについて

本委員会では、本市の新エネルギー導入について、調査を進めてきました。

△太陽エネルギー▽市民が仕組みを理解のうえ、太陽光発電に取り組むことができるよう、今後も情報収集と発信が必要です。

地域振興の視点から見たとき、太陽光発電の経済効果は一時的なものに終わることも想定され、地域産業活性化の喚起につながる方策を進める必要があるとの見解に達しました。

△森林資源▽（バイオマスエネルギー）木質ペレットとペレットストーブの一層の普及には、市民周知を継続し市内の需要と供給バランスをとり進めることが肝要との意見で一致しました。△ポンプや雪を利用した雪氷熱など、熱や温度差の効果的な利用は、今後の公共施設の改修、改築時に取り入れる積極的な検討を願う意見が出されました。

総務文教(都市事例調査)



南丹市八木バイオエコロジーセンター

△京都府南丹市
が進み、権利取得が容易になることも想定され、本市においても関係機関と協議のうえ検討を願うとともに、積極的に取り組む価値があるものと、委員会では意見が一致しました。

△和歌山県新宮市
木質バイオマス利活用の観点から、国内で利用され始めて間もない木質パウダーバイオ燃料の稼動状況と、市内に流れる高田川上流で取り組んでいる小水力発電について調査し、現地での視察を行つた。森林資源のバイオマスエネルギー利用が実現した背景には、二つの地域課題を解決しようとする考えがあつた。一つには林業及び製材業の活性化、二つには、原油価格高騰の影響を大きく受けた市の公共温泉施設の経営の安定化があつた。また、小水力発電に取り組んだためであつた。

△廃棄物エネルギー▽（固体燃料）リサイクルセンターは、昭和63年、都市ごみ燃料化施設として全国第1号の取り組みが始まり、現在も年間約2500トントの安定生産で、重油に換算すると本市の公共施設全体を賄う可能なエネルギー量となります。

過去の課題であるダイオキシン発生抑制に対応したボイラーも実用化されてきており、再度市内利用が強く望まれます。

△小水力発電▽河川法の水利権により、新規発電には複雑な手続きと時間を要するとしていますが、国が再生可能エネルギーの導入に積極的な姿勢を見せており、徐々に条件緩和されていける状況にあります。今後法改正が進み、権利取得が容易になることも想定され、本市においても関係機関と協議のうえ検討を願うとともに、積極的に取り組む価値があるものと、委員会では意見が一致しました。

△バイオマスの循環型利用について、八木バイオエコロジーセンターの取り組みを調査し、施設の視察を行つた。この地区に肉用牛、乳牛などの家畜があり、市内の需要と供給バランスが取れた事業推進となつておらず、平成16年の台風23号を契機に自然機能を見直し、手入れが行き届いていなかつた森林や里山の整備など地域課題を解決し、地域振興を図るまちづくりが進められていた。環境と経済が共鳴する仕組みが構築されようとしており、この考え方がまちづくりの一貫した姿勢として、諸所に活かされている点は大いに参考となつた。

○兵庫県豊岡市
バイオマスタウン構想について

保健福祉委員会

■子育て支援の現状と拡充

本委員会は、富良野市次世代



子育て支援風景（ひよっこサロン）

育成支援地域行動計画のうち、基本施策、地域における子育て支援サービスの充実及び子育て支援のネットワークづくりの2点7項目について調査しました。

担当部局からは、子育て支援に対し「育ちの場として家庭を大切にすることを前提に、将来の社会の担い手として子どもの育ちを見守り、社会全体で支援していくことが必要」との基本的な考え方を確認しました。

さらに委員会では、事業のふ

れあいサロンを含め5箇所を視察し、多くの保護者の方々と意見交換を行いました。内容としては、屋外の遊び場、開設日数、時間の拡充など多くの意見を聞くことができました。

本委員会は子育て支援について、次の3市を調査しました。

○富山県射水市

委員会としては、本支援の現状、保護者との意見交換、都市事例調査の結果を踏まえ、3点の意見の一致をみました。

①屋外の遊び場の整備は、親子同士の出会いと、異世代との交流で人間性を豊かにする。

②親子同士の交流促進、育児での不安感や孤立感の解消の場として、支援事業やサロンの充実して、支援事業やサロンの充実と更なる利用の拡充が必要。

③従前は幼児クラブとして市内に8カ所あつたが、現在は3カ所しかなく更なる拡充が必要。

本委員会では以上の3点の意見に議論が集中しました。

調査を通じ、少子高齢化、核家族化の現在、相手への思いやりや心遣いが求められる中で、高齢者を含めた世代間交流は人格形成の一助となり、子育ては人が成長するための出発点でもあり、心が通い満足感の持てる子育て支援を望みます。

保健福祉(都市事例調査)

本委員会は子育て支援について、次の3市を調査しました。

○富山県射水市

射水市は、合併を契機に当時の市長が掲げた、「子育てするなら射水市」のキヤッチフレーズで、各種の子育て支援に取り組んでいる。特に子どもの相談室あんしんルームにおいて子ども

の心理面に配慮した事業を行っている。経済的支援としては入園費の支援、不妊治療に対する助成などがあり、また、つどいの広場を開設し、親同士の交流を通じ子育てに対する不安軽減策を精力的に取り組んでいる。

○東京都多摩市

多摩市では、子育て総合センタートまつこを立ち上げ、NPO、大学、行政が協力体制を構築している。家族や親族から支援が受けられない時には、サポートが派遣され、また、子ども家庭支援センター事業では児童虐待防止対策窓口として、広く市民に通報を呼び掛けている。

○千葉県野田市



射水市視察

野田市では、子育て支援総合コーディネート事業を立ち上げ、民間業者との調整や情報などをサービスの提供が一元化されている。訪問型一時保育事業は、子育ての不安解消、親の孤立や虐待防止等を目的に家庭訪問し配慮している。また、現状把握調査を行い支援継続の要否や他制度の有無などもフォローし心の

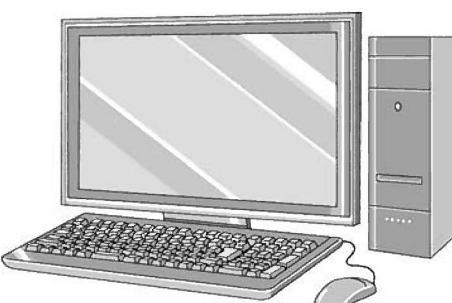
委員会の動き

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は地方分権時代に即した議会活性化、より市民に身近な議会を目指し平成17年に設置し、平成23年5月に再設置された第4次委員も終盤を迎えるとしています。

本委員会は三元代表制の議会は「討論と審議の機能」や「住民の意見を代表する機能」を充分に發揮させるために、開かれた議会であるか、議論は充分に尽くされているか、衆知を集め努力はしているのか、行動が伴っているのかなど、委員は検証と自問自答を行いながら議会改革を継続し、さらに新しく改革を展開して実績を重ねる、改革先行型を行ってきました。

中でも懸案事項であったインターネット議会中継実証テストは、2日間の一般質問試験配信で、1100件以上のアクセスがあり、一層の情報公開に期待ができるものと考えます。同時に議員は、可視化に伴い今まで以上に論点・争点を明らかにした議論が求められます。



一般会議（富良野まちづくりトーク）は諸課題に柔軟に対応するために、自治法で規定する

委員会のほかに議会独自に要綱を定め、市内で活動している市民団体、NPO等の市民と議員

が「まちづくり」の諸課題について、自由に意見や情報を交換する機会として委員会では協議を重ね、平成25年1月1日より受付を開始し2月1日より実施することに決定しました。今後

は、まちづくりトークや議会報告会を重ねて衆知を集め、議会の政策形成力を高める機会といたします。なお、残る各委員会公開の充実、議会基本条例など検討課題についてもさらに協議を行っていきます。

議会報告会

■市民参加まちづくりの扉を開く議会報告会

平成24年度の議会報告会は15会場を予定し8月に9会場11月には東部児童センター・東山公民館・扇山地区公民館・育良会館の4か所で行いました。

報告会では議会活動の現状と、

常任委員会・特別委員会の調査内容、一般質問、補正予算の概要を報告し、参加者の皆さんと質疑・応答を行い、数多くの地域課題や議会、行政への意見をいたしました。

主なものとしては、防犯灯・



東山公民館にて



東山公民館にて

街路灯整理と負担軽減、人口減少に伴う地域コミュニティの課題、自主防災対策、市民の身近な町内会活動の現状と今後の課題について出されました。また、（仮称）こども園の今後について、東4条街区再開発事業の進捗状況と今後の事業計画、駅前駐車場不足など市街地再開発事業に対する意見なども出されました。

報告会で出された多様な課題・意見等については、議会の中でも整理し、内容によつては政策提案として一般質問、委員会に反映し、市民参加の議会活動を可能にしています。

この積み重ねが、市民の信頼を生み、議会報告会が協働する議会として市民参加まちづくりの扉を開き、富良野の未来を創っていくものと考えます。

市民連合・公明党 都市事例調査報告

市民連合・公明党は地域主権時代における自治体独自政策について長崎県南島原市・大分県豊後高田市の都市事例調査を行つた。



長崎県南島原市にて

に関しても条例で定められてゐる。特別職に任命することで個人情報に関する守秘義務を課し、行政と共に要援護者の情報を共有し、自治会活動 地域防災活動など、より確かな活動を可能にした。

「学びの21世紀塾」

豊後高田市は、完全学校週5日制の実施に当たりアンケートを行い、70%の保護者が学力低下・土日の過ごし方に不安を抱いている結果を受け、行政として子供の学力や体力の向上、心をどう21世紀に育てるかを目的に「学びの21世紀塾」を開設し、①いきいき土曜日事業②わくわく体験活動事業③のびのび放課後活動事業を行い、土曜日の空白時間をつくるのではなく勉強や体験活動・ボランティア活動に取り組み、自分でづくりをする時間とした。学びの21世紀塾の講師は、教員経験者・元銀行員・家庭教師の経験者・地元の組織の重要性が広く浸透しており、自治会加入率90・1%で県内トップクラスの数字である。

第3回定例会において継続審査の付託を受けた平成23年度決算歳入総額は、一般会計では12,224,245千円、特別会計（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・公設地方卸売市場事業・公共下水道事業・簡易水道事業）6,104,745千円、歳出総額一般会計11,898,551千円、特別会計5,946,214千円で実質収支総額は405,911千円で前年度より145,968千円増額しています。企業会計は水道事業決算額459,828千円、ワイン事業営業収益397,393千円です。

認定第1号より認定第9号の、平成23年度富良野市一般会計ほか各会計歳入歳出決算審査に当たつては、9月14日に審査日程、要求資料の検討並びに決算内容について会計管理者から総括的に説明を受け、11月7日8日、9日の3日間にわたり、所管部ごとの審査を行いました。

審査では、「移住促進事業費」「交通安全対策事業費」「富良野市社会福祉協議会補助金」「緊急時医療情報センター」等の9項目について、会計管理監査官と議員が自由に情報及び意見を交換する目的を達成するため、「議会審査要綱」を定め、1月1日から受付、2月1日から運用実施することにいたしました。具体的には、希望する市民・市民団体、NPO等（以下「団体等」という。）が、申込書を提出していただき、代表者会議において内容を審査し開催の可否を決定いたします。

平成23年度決算審査特別委員会報告

富良野市議会一般会議（議会とまちづくりトーク）のお知らせ

富良野市議会では、市民と議員が自由に情報及び意見を交換する目的を達成するため、「議会審査要綱」を定め、1月1日から受付、2月1日から運用実施することにいたしました。具体的には、希望する市民・市民団体、NPO等（以下「団体等」という。）が、申込書を提出していただき、代表者会議において内容を審査し開催の可否を決定いたします。

実施要綱、申込書様式など手続きの詳細については、富良野市議会本会議室（3階）にお問い合わせ下さい。

自治会長は、当該自治会の推薦によって市長が非常勤の特別職として任命し、自治会長設置に関する規則によつてその職務が規定され、報酬及び費用弁償が規定され、報酬及び費用弁償

議会日誌

11月

- 7日・決算審査特別委員会
- 8日・決算審査特別委員会
- 9日・決算審査特別委員会
- 12日・保健福祉委員会
 - ・総務文教委員会
- 13日・議会改革特別委員会
 - ・議会報告会（扇山地区公民館）
- 14日・経済建設委員会
 - ・議会報告会（育良会館）
- 16日・総務文教委員会
- 19日・議会報告会（東部児童センター）
- 21日・経済建設委員会
- 22日・総務文教委員会
- 26日・市長との意見交換（決算審査）
- 27日・第4回定例会告示
 - ・議会報告会（東山公民館）
- 29日・議会運営委員会

12月

- 4日・第4回定例会（1日目）
 - ・総務文教委員会
 - ・保健福祉委員会
 - ・経済建設委員会
 - ・議会広報特別委員会
 - ・議員会役員会
- 6日・総務文教委員会
- 10日・第4回定例会（2日目）
- 11日・第4回定例会（3日目）
 - ・議会運営委員会
- 14日・第4回定例会（4日目）
- 19日・経済建設委員会
- 20日・議会改革特別委員会

1月

- 9日・議会広報特別委員会
- 11日・保健福祉委員会
- 16日・議会広報特別委員会
 - ・議会運営委員会
- 17日・議会改革特別委員会
- 18日・総務文教委員会
 - ・経済建設委員会
- 21日・保健福祉委員会
 - ・議員研修会
- 22日・議会広報特別委員会
 - ・議会報告会（鳥沼会館）
- 23日・議会運営委員会都市事例調査～25日
- 28日・議会改革特別委員会
- 29日・経済建設委員会
- 31日・保健福祉委員会

傍聴してみませんか

平成25年第1回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日 程】

2月27日(水)	開会日
2月28日(木)	第2日目
3月1日(金)	第3日目
3月4日(月)	代表質問
3月6日(水)	一般質問
3月7日(木)	一般質問
3月11日(月)	予 備 日
3月13日(水)	予算特別委員会
3月14日(木)	予算特別委員会
3月15日(金)	予算特別委員会
3月19日(火)	最 終 日

※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は、日程をご確認ください。
※多くの方の傍聴をお待ちしています。

お問合せ：議会事務局

☎ 39-2322

委員会名	調査件名	調査番号	調査地	調査日
議会運営委員会	議会運営について	調査第6号	生涯学習センターについて	1月、下旬
		調査第7号	生活保護世帯の実態について	

可決された意見書

●次代を担う若者世代支援策を求める意見書

（大栗 民江 議員外4名）

◇第4回定例会に議員提案された意見書は次の1件です。
可決後、直ちに関係機関に送付しました。

編集後記



▼新しい年を迎えて、皆様いかがお過ごしでしょうか。「ふらの市議会だより」がお手元に届く頃には、本州の花便りを見て春を待つ心で一杯になっているのではないでしょうか。今年も感謝の気持ちで健康に暮らせますよう。

▼節電を心がけているのですが、ゆつたりとした夜の日は遅くまで起きてしまい、後からの罪悪感に悩まされています。

▼昨年中は東北復興・TPP・原子力発電・沖縄問題・領土問題・雇用・税と社会保障等と多

大きな怪物だと改めて思い知らされました。

▼今年もご一読を願い「ふらの市議会だより」心を込めて発行いたしました。

この課題があふれ、賛否両論のマス・メディアでの中でのどのようにして考えを構築していくか、大変な重さを感じますが、いかがでしょうか。

▼12月の国政選挙では開票が始まつたばかりの中で、情報収集が正確なのか結果が早々と出てきました。どうしてわかるのとマス・メディアはとてつもないびっくりしたり、感心したり。

▼今年もご一読を願い「ふらの市議会だより」心を込めて発行いたしました。

議会広報特別委員会
委員 天 日 公 子

くの課題があふれ、賛否両論のマス・メディアでの中でのどのようにして考えを構築していくか、大変な重さを感じますが、いかがでしょうか。